# 検査科便り 第10号

2018年10月発行

こんにちは、検査科です！
今回は『睡眠時無呼吸症候群』をテーマにお届け致します。
みなさんは眠りから起きた時、体が重いと感じたことはありますか？
感じた方の多くは、日頃の疲れが溜まっているのだろうと思われる事が多いと思います。
実はそこに怖い病気が隠れているかもしれません。
検査をしてみないとわからない睡眠時の無呼吸！日本の潜在患者数は300万人以上！？
少しでも自分の症状に当てはまるのがありましたら、一度検査を受けてみてはいかがでしょうか。

## 睡眠時無呼吸症候群ってどんな病気？

睡眠時無呼吸症候群とは、眠っている間に呼吸が止まる病気です。
Sleep Apnea Syndromeの頭文字をとって「SAS（サス）」とも言われます。
医学的には、10秒以上の気流停止（気道の空気の流れが止まった状態）を無呼吸とし、無呼吸が一晩に30回以上、若しくは1時間あたり5回以上あれば、睡眠時無呼吸です。
寝ている間の無呼吸に私たちはなかなか気付くことができないため、検査・治療を受けていない多くの潜在患者がいると推計されています。
この病気が怖いところは、気付かないうちに日常生活に様々なリスクが生じる可能性があるところです。

## 睡眠時無呼吸症候群の症状は？

**～寝ている間～**
- いびきをかく
- 呼吸が止まる
- 何度も目が覚める
- 寝汗をかく
- 呼吸が乱れて、息苦しさを感じる
- むせる

**～起きている時～**
- 強い眠気
- だるい、倦怠感がある
- 集中力が続かない
- いつも疲労感がある

## 睡眠時無呼吸症候群の検査

### 〈一般的な検査の流れ〉

問診
自宅での簡易検査
精密検査
治療法の決定・開始

当院で実施！！

### 〈検査方法〉

睡眠時の呼吸障害を詳細に診断する為、
数多くのセンサーを装着した状態で一晩寝る
睡眠時無呼吸検査（PSG検査）を行います。
装着するセンサーは以下の通りです。

| | |
|---|---|
| 心電図 | 心拍数や不整脈を調べる |
| パルスオキシメーター | 低酸素血症がないか調べる |
| 気流センサー | 鼻と口からの呼吸を調べる |
| 呼吸センサー | 呼吸時の喚起運動を調べる |

この検査で、呼吸・心電図・動脈血酸素飽和度・いびき・体位・体動などの生体現象を総合的に評価し、睡眠呼吸障害の有無を調べることが出来ます。
当院では、患者さんに機械の付け方をお伝えし、ご自宅に機械を持ち帰ってもらいます。その後、入眠前にご自身でセンサーを付けて頂く簡易PSG検査を行っております。
少しでも症状がある方、ご希望の方は医師にご相談ください。

**お知らせ**
12/19（水） 新都市セミナー開催予定